

ななか通信

このまちで
いつまでも
元気に暮らしたい
そんなあなたを
応援します。



令和7年度 第2号

今回は認知症と防災に関する記事を掲載していますのでご覧ください。

認知症のイメージを変えていこう！新しい認知症観

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

(認知症施策推進基本計画(R6.12)より)

●仲間とつながりたい、希望を持って暮らしたい、を応援します!!

岡山市では、以下の取り組みを行っています。

オレンジは認知症の
シンボルカラーです!!

サボくま:
岡山市地域包括支援センター
認知症担当キャラクター



認知症 地域支援推進員

認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように相談に応じ一緒に考えます。

チームオレンジ

認知症の人とその家族の「声」から、認知症サポーターと「一緒」に活動を始めます。

おかやま オレンジカフェ

もの忘れがあってもなくても出会うつながり、ほっとすることができる場として、認知症カフェがあります。

本人ミーティング

認知症の人や物忘れが気になる方同士が、自らの体験や希望、必要としていることを話し合う場です。

オレンジクロスプロジェクト



認知症の方などに、オレンジの糸を使って雑巾（オレンジクロス）を縫っていただき、認知症キッズサポーター養成講座を受けた小学生にお渡しています。
オレンジクロスを使っていただくことで、お友達やご家族などと認知症について話すきっかけとなり、やさしい気持ちや思いやりの心が広がってほしいと願う取り組みです。

皆さんもタオルを集める、形にする、使う、認知症について学ぶ、伝える…できるところから参加してみませんか？

◆◇◆詳しくは、最寄りの地域包括支援センターまでご相談ください。◆◇◆

【軽】災害に備えましょう！



避難所や避難所までの経路も確認しておきましょう。



迫りくる自然災害、あなたを守るのは？

☆自助 まず、あなたを守るのは、あなた自身

①下敷きにならない

阪神淡路大震災での死因の8割は、倒れた家具や家での下敷きが原因（その多くは窒息死）
※家具の固定をしましょう。

②備蓄は自分のため

巨大災害ではすぐには十分な救援物資は来ないかもしれません。

③家族で話し合おう

災害はいつ襲ってくるか分かりません。災害の発生に備え、各自の役割分担や連絡方法、避難方法などをあらかじめ話し合っておきましょう。

④安否確認の方法

災害発生時、被災地エリア間の電話はつながりにくくなります。そんな時でも、被災地エリア外への電話は比較的つながりやすくなっています。

遠方の親戚や知人に連絡を取ることを決めておけば、安否確認に役立ちます。

災害用伝言ダイヤルの利用。

（岡山市防災マニュアルより）

☆共助 「下敷きになってしまった！」助けてくれるのは近所の人

地域等が行う防災訓練や講座への参加や、日頃からのコミュニケーションが大切です。

☆公助 公助とは、行政が住民を災害から守ることです。（岡山県HPより）

岡山市ホームページや各区役所でハザードマップも入手可能です。

避難所で配慮が必要な方への接し方として「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」「家族へも声かけを」小さな思いやりが大きな安心になります。

日頃からできることとして、高齢者の支援を行っている
地域包括支援センターでは、認知症に対する理解を深める
認知症サポーター養成講座・認知症キッズサポーター養成
講座を開催しています。

お近くの地域包括支援センターへお問い合わせください。



岡山市地域包括支援センターキャラクター
ほうほう

イベントのお知らせ

■サポくまフェスティバル■

9月28日（日）

「サポくまフェスティバル」は認知症普及啓発を目的とした、認知症について楽しく学べるイベントです。サポくまグッズづくりやカフェスペースもあります！

■ふれあいまつり■

10月25日（土）、26日（日）

「ふれあいまつり」は岡山ふれあいセンターで毎年開催しているイベントです。中区地域包括支援センターも参加しています。

いずれのイベントも、岡山ふれあいセンター（10：00～14：00）で開催します！

認知症伴走型支援事業って？

相談
無料

- 認知症のことを詳しく知りたい
- 認知症の家族への対応がうまくいかない
- 介護のストレスを抱えている



認知症に関する困りごとや悩みを抱えている方へ

継続して相談対応を行います

岡山市から委託を受け令和6年7月から始まった事業です。身近な地域で早い段階から認知症についての不安を相談できる場を作り、本人や家族に寄り添い、継続的にサポートすることを目的としています。
中区では**特別養護老人ホーム『いこいの里』**が委託を受けて行っています。

特別養護老人ホーム『いこいの里』

【場所】岡山市中区祇園541-1

【連絡先】☎ 080-6450-4089 (24時間対応)

✉ ikoi@takufukai-group.or.jp (メールでの相談も可能)

電話またはメールにて連絡を受け付けています。

🔍 詳しくは「たくふう会」のホームページでご確認ください。



訪問での
相談も可能です

中区の相談会

【定期相談会】

毎週水曜 10:00～17:00
(いこいの里)

【サテライト相談会】

第1木曜 13:30～14:30
(高島公民館)
第4木曜 13:30～14:30
(旭竜コミュニティーハウス)

【中区地域包括支援センター合同相談会】

第4火曜 13:30～14:30
(岡山ふれあいセンター)

合同相談会では、
包括職員も
同席しています

この事業では、いこいの里と中区地域包括支援センターが合同で支援を行ったことで、訪問を重ねご本人と何度もお話をさせていただくことができました。初めは受け入れていただくのが難しい場面もありましたが、生活状況やご意向を丁寧に確認し、ご本人が安心できる暮らしの実現に繋げることができました。

〈認知症伴走型支援事業〉では、ご自身やご家族、周囲の方が不安や悩みを感じた早い段階からの相談をお受けします。問題が複雑化する前に

【中区地域包括支援センター合同相談会】をぜひご利用ください。



中区地域包括支援センターの職員を紹介します！

包括職員も、楽しみや目標を大切に頑張っています。

《インタビュー内容》

職員名・所属場所（担当小学校区）

①好きな言葉 ②楽しみ（趣味） ③仕事の目標

入江 高島分室（高島）

R7年度
入職（1名）



- ①雲外蒼天
- ②編み物、飲食店巡り
（古民家風の内装や雰囲気の良い飲食店が好きです）
- ③県外出身のため、まずは岡山のことを知り、包括職員として地域に貢献できるよう、笑顔でコツコツ頑張りたいです。

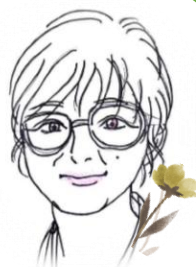
R6年度
入職（3名）

田淵 本センター （富山）



- ①初心忘るべからず
- ②登山
1年前から登山を始め、昨秋には長野県の燕岳に登り、その絶景に感動しました。
- ③相談しやすいと思っていたら、ただけのような包括職員になりたいです。

橋本 中区分室 （平井）



- ①ケセラセラ
- ②瞑想・編み物
公園やカフェ、図書館などに出没しています（笑）
- ③包括業務はチームでのお仕事なので、自分のスキルを活かし、地域の方や同僚に少しでも貢献できるように頑張っていきたいです。

近藤 本センター （富山）



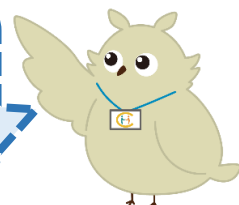
- ①動的平衡
- ②好きなバンドのライブに行くこと、愛犬と戯れること。
- ③地域住民の方と信頼関係を築き、地域が少しでも良くなるようにお手伝いしたいです。

岡山市中区地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者を保健・医療・福祉・介護などさまざまな面から総合的に支える機関として、設置された公的機関です。

保健師・看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等の専門職が高齢者の相談に応じます。

令和7年9月1日
高島分室が移転
します！



ウェブサイトも
ぜひご覧ください！



本センター（富山・旭操・操明・操南小学校区担当） ☎274-5172

中区分室（旭東・平井・三勲・宇野小学校区担当） ☎206-2871

高島分室（財田・竜之口・幡多・旭竜・高島小学校区担当） ☎275-3205